

評価シート3（農・山・川物語）

場 1	「農」環境の保全と環境資源の持続的な活用物語	
	■クリーン農業の推進による環境保全と生産システムに係る信頼の確立	
	・適正な施肥と防除により、化学肥料、農薬の使用抑制を進める	
場 2	「山・森」環境の保全と環境資源の持続的な活用物語	
	■山がはぐくむ「水・土・森」の保全と育成	
	・山の水源を包む流域の森林生態系を保全	
場 3	水の流れ環境と物質循環を持続的に支える河川環境の物語	
	■河川の自然生態系を再生する物語のシナリオを描く	
	・水質浄化や河川流域清掃作戦のプログラムづくりと市民の参加	

登場人物の役割			これまでの取組及び 今後の実施予定の取組【斜め字】	実施 状況
市民	事業者（農業者、流通事業者等を含む）	行政		
・減農薬・無農薬等の農業理解を深める	・減農薬、減化学肥料など認証取得に努力	・認証制度の広報展開や情報提供	・減農薬米への支援推進 ・地産地消イベントの開催（H21） ・滝川地産地消ふるさとづくり協議会の設立 →地産地消認定店精度の創設（H22）	
↓店舗の農産物など商品理解を深める	↓減農薬・減化学肥料のブランド化を推進	↓地場産品の認証状況について情報提供		
↓生産地との交流事業に参加する	↓トレーサビリティなどの情報提供を徹底	↓農産物についての基礎的知識の普及		
↓安全安心な食への関心を高める	↓品質の確かさをPR	↓クリーン農業への支援拡大		
クリーン農業推進の意義を地域の生産者とともに消費者とともに理解を深めながら、さらなる普及拡大を推進する				
・地場食材を使った調理の工夫	・地場食材の特性を活かした外食産業	・学校や社会教育における食育の啓発	・親子農業体験塾（H18以前） ・地産地消交流給食（H18以前） ・減農薬米の販売（H18以前） ・滝川産ナタネ油の生産及びブランド力の向上への支援（H19） ・地場農産物販売拡大事業（H20） ・学校における農業体験授業の推進（H23～）	
↓生産履歴表示の活用術を習得	↓地場食材の活用方法を積極PR	↓地場食材の情報提供		
↓地場食材の食べ比べ	↓地場食材の特長を活かしたレシビ開発	↓消費者と生産者の交流機会の創出・運営		
↓食生活や調理工夫の交流体験学習	↓農地見学を受け入れる体制の整備	↓教育カリキュラムへの農業体験の導入拡大		
↓食材の生産地を訪ねるミニツアーの実施	↓農地めぐり散策路の整備	↓学校給食を通じての地場産農作物への理解向上		
●農地の放棄と生産者との交流				
地域の農産物の価値を見直し、生産者と消費者が信頼でつながる生産・流通システムの構築を図るとともに、地域産品を積極的に消費す				
・森林の生態系を学ぶ活動に参加する	・森林管理を市民ボランティアに開放する	・森林の生態系に関する情報の提供	・石狩川ルネサンスの森植樹祭（H13～） ・石狩川再生の森整備（H15～） ・北海道植樹祭の開催（H18）	
↓森林保育の協働活動を組み立てる	↓所有森林の利用を市民に幅広く開放する	↓森林保育の協働の場づくり		
	●森林の管理を協働で進める仕組みを準備			
山や森の保全について関心を高めてもらうための取組を進める				
・居住空間の緑保全に協力する	・緑の拡大などに協力する	・協働の仕組みを整える	・農地・水・環境保全向上対策事業（H19～H23）	
↓緑の必要性について理解を深める	↓事業所の緑化などに努める	↓住民理解を深める		
●緑の維持管理に協力する	●緑の維持、拡大に協力する	●協働の仕組みを構築する		
身の回りの緑について改めて考える機会を創出し、緑のあり方を議論していく				
・森林の多様な機能を調べる活動に参加	・事業所としての協力、参加	・森林の多様な機能に関する情報提供	・滝川遊学会事業における自然体験 ・そらぶちキッズキャンプ実現化支援（H18以前）	
↓市民調査活動の組織化と運営		↓市民調査活動への支援		
↓自然ガイドの市民グループ形成		↓公共林への調査活動の支援		
↓自然観察体験の普及		↓森の散策路の整備		
↓森の中の散策路の整備に参加		↓森のかがく活動センターの場の提供		
自然とのふれ合いを促し、自然との共生についてともに考える機会を増やす				
・川辺の清掃活動の実践	・河川への排水経路の点検	・河川管理者と連携して河川情報を提供	・まちづくり・川づくり協議会の活動推進支援（H18以前）	
↓河川の小動物や植生調査	↓従業員に対する市民活動参加の啓発	↓河川環境の市民調査に対して支援		
↓流域の土地利用や生活状況調べ				
↓改善アイデアとりまとめと課題抽出				
河川とのふれ合いを通じてその良さや価値を再発見する				
・水辺の観水活動への参加	・観水活動をサポートするビジネス起業	・活動の場の整備と提供	・まちづくり・川づくり協議会の活動推進支援（H18以前）	
↓参加したい観水活動の機会創出	↓ニーズの把握と新しいプログラム開発	↓活動空間に関する情報の整備と提供		
↓動植物の生息空間を作る実践活動	↓自然ガイドのプロ化	↓自然ガイドの派遣		
↓水辺の環境を学ぶ体験プログラム作成		↓活動拠点の場の提供		
↓観水活動の指導者の育成				
川づくりの活動拠点づくりと人材育成を推進する				

【実施状況欄】

A: 十分な取組が行われている B: 取組が行われているものの、今後の推進が望まれる C: 取組が行われているが、今後、方向性を変えるなど事業の再検討が必要 D: 取組が進んでおらず、検討が必要